

日本医師会新型コロナワクチン速報【第12号】

新型コロナウイルスのワクチンに関する現時点における確定情報を速報いたします。必要とされているにもかかわらず不確定な情報については、確定され次第ご案内いたします。

【目次：第12号】

1. ワクチン接種体制の好事例について
2. ワクチン接種体制の課題について

1. ワクチン接種体制の好事例について

- ・ 地域における「新型コロナウイルスワクチン接種体制」の構築・運用に関して、好事例をご紹介いただきました（回収期間：令和3年6月9日～6月17日）。

[令和3年6月2日付日医発第201号（健Ⅱ125F）]

- ① 岡山県医師会： かかりつけ医による個別接種が順調に進んでいる。さらに、県の集団接種会場に、県看護協会や派遣会社からの看護師が派遣されている。岡山県医師会では、医師のみならず、派遣される看護師も含めワクチンの担い手チーム全体について出務の日程調整を行っている。
- ② 北海道 苫小牧市医師会： 職域接種の対象となる企業は、ほとんどが中小規模の企業であり、市からの協力要請を受け、市と医師会が共同で運営する「苫小牧市保健センター」が職域接種の受け皿となり、センターでの接種と巡回での接種の対応を準備している。

2. ワクチン接種体制の課題について

- ・ ワクチンの希望量と配分量の不一致や、今後配分されるスケジュールが不明確なため、接種予約が取れないとのご指摘をいただいています。ワクチン配分の見通しを示していただけるよう国に対して要請し、調整しているところです。
- ・ V-SYSの入力・問い合わせ方法、医療機関におけるインターネット環境、電子化の課題などご報告いただきました。
- ・ 国が供給しているディープフリーザーの一部に不具合が発生しており、厚生労働省から該当機種をお持ちの医療機関等に対して交換等の対応を行っています。

[「EBC社製ディープフリーザーの交換対応について」令和3年6月14日付 厚生労働省 健康局健康課予防接種室]